



掬

生命輝く赤中生

目指す学校像

明日また来たくなる学校



「学校ブログ」掲載中!

赤見台中HP



「無言清掃」

校長 穂山 孝幸

日差しが随分と強くなり、初夏というには汗ばむような陽気が続いています。5月末に学校総合体育大会北足立北部班大会が行われ、個人参加も含めて運動部の生徒が参加しました。これまで培った練習の成果を発揮し、各部ともよく頑張っていました。特に、3年生は最後の班大会にかける意気込みがよく表れて、精一杯の力を尽くし、1・2年生もその意をくんで一生懸命に応援やそれぞれの役割を果たして、部としての一体感が出ていました。県大会等の上位大会への出場が決まった選手の皆さん、おめでとうございます。できる限りの準備をして持てる力を発揮してもらいたいと思います。

また、6月10日に実施予定の体育祭に向けて、生徒は一生懸命に練習してきています。今年度は開校40周年記念として本校の学校応援団である「赤中応援支隊」の方々に作成いただいた法被を、1年生から3年生まで体育祭実行委員全員が着用して「よさこい鳴子踊り」を踊ります。保護者の皆様、地域の方々にはご都合がつかましたら、ぜひご覧いただければと思います。なお、本年度より個人種目等、競技種目を削減し、昼までの開催としております。好天のもとで無事に実施できることを願っています。

さて、6月6日は本校の開校記念日です。今から40年前の昭和61年4月に鴻巣北中学校から分離し、赤見台中中学校が創設されました。校章が制定された6月6日を、開校記念日にしたとのことです。市内8校の中で最も新しい本校ですが、近年は学校施設のあちらこちらで修理や補修を行っています。

そのような今の赤中ですが、生徒（職員も）は毎日しっかりと清掃を行い、学習環境を整えています。本校の清掃活動は、担当場所に移動したら、放送による音楽が流れる約1分間の黙想をしてから清掃に取り組むという特徴があります。放送で流れる「トロイメライ」（ロベルト・シューマン作）というピアノ曲は、黙想をして心を落ち着けてから取り組むのにぴったりの曲です。生徒はその場で、直立不動の姿勢で黙想します。掃除をいち早く始めている生徒も、移動中の生徒も一時停止します。校内がシーンとし、音楽だけが静かに流れています。私はこれを最初に見たとき「大事な清掃時間中に、なぜ静止している？」と驚きましたが、心を落ち着かせて気持ちを集中させることを、今ではとてもよいことだと思っています。黙想が終わると、生徒はそれぞれの清掃に取り掛かります。私語を発せず、黙々と集中して行います。この無言清掃は、先生に聞かなくともできるよう、自分の清掃内容を理解しておくことが重要です。さらに、自分の担当箇所が早く終われば、時間内にまだやるべきことを見つけて行います。終了時には班員がそろって班長のもと振り返りを行って、担当の先生の確認を受けます。

この取組を毎日行い、普段の清掃で行き届かない箇所は大掃除のときに取り組むことで、学校の清潔な環境が保たれています。経年劣化による施設の老朽化はやむを得ないところですが、できる限り学校をきれいに維持し、未来永劫、後輩に引き継いでもらいたいと思います。

赤見台中学校「生徒心得」

- ①気持ちのよいあいさつ
- ②落ち着いた学習態度
- ③時間を守る
- ④きれいな学校

中学校生活の手引きより

